

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成20年4月3日(2008.4.3)

【公開番号】特開2002-254561(P2002-254561A)

【公開日】平成14年9月11日(2002.9.11)

【出願番号】特願2001-53940(P2001-53940)

【国際特許分類】

B 3 2 B 25/08 (2006.01)

B 3 2 B 7/02 (2006.01)

B 3 2 B 27/00 (2006.01)

H 0 1 B 5/14 (2006.01)

【F I】

B 3 2 B 25/08

B 3 2 B 7/02 1 0 4

B 3 2 B 27/00 A

H 0 1 B 5/14 A

【手続補正書】

【提出日】平成20年2月14日(2008.2.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 5】

〔比較例 2〕実施例 2 でエラストマー層を形成しなかった環状オレフィン系フィルムのコロナ放電処理面に直接、実施例 2 と同様に透明導電性薄膜を形成し、当該透明導電性薄膜上に、実施例 1 のハードコート層用塗工液を用いて厚み約 3 μ m のハードコート層を形成して、透明導電性フィルムを作製した。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 2】

一方、比較例 1 のハードコートフィルム及び比較例 2 の透明導電性フィルムは共に、耐折試験において全て 1 回の折り曲げによって破断してしまい、また、断裁試験においては、断裁した端部にクラックが発生してしまった。